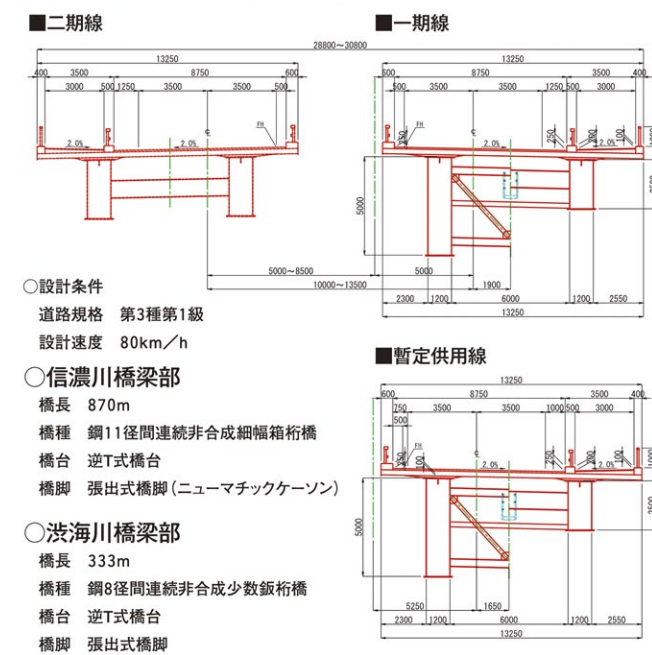


信濃川橋梁(仮称) 諸元



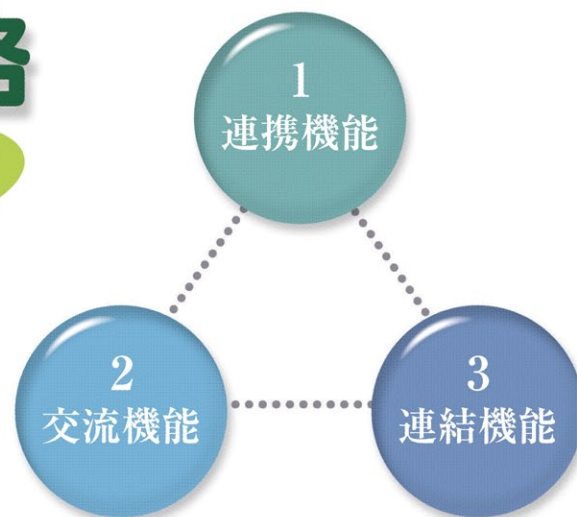
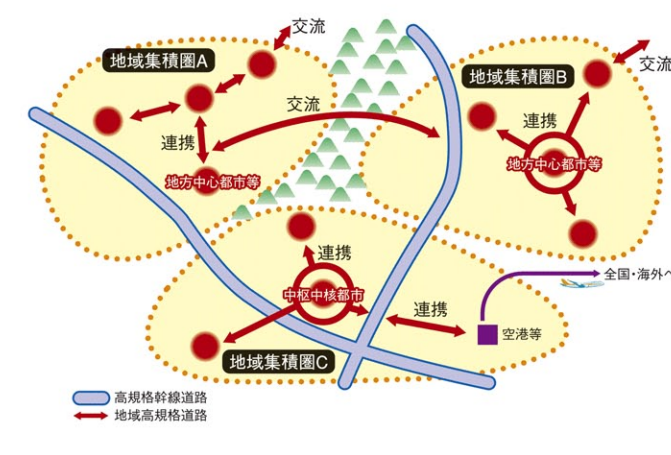
信濃川橋梁(仮称)完成予想図

■信濃川橋梁(仮称)断面図



地域高規格道路 ってなに? What's?

地域高規格道路は、地方の拠点都市を中心とした広域的な地域連携を強化するため、高規格幹線道路(高速道路)と一体となって地域構造を強化する道路であり、**交流・連携・連結**の機能のいずれかの機能を持っています。



地域高規格道路の3つの機能

- 1 通勤圏の拡大や都市と農村との連携強化等による地域集積圏の拡大を図る環状・放射状道路。
- 2 高規格幹線道路を補完し、物資の流通、人の交流の活性化を促し、地域集積圏間の交流を図る道路。
- 3 空港・港湾等の広域的交流拠点や地域開発拠点等との連絡道路。

街に活気。人に笑顔。

地域高規格道路 国道404号

長岡東西道路

地域高規格道路「長岡東西道路」は、

- 信濃川で分断されている長岡市街地の交通渋滞の緩和
- 市町村合併により広域化した新長岡市の連携強化

などを目的とし、国道404号の新潟県長岡市要町～同市西津町間に至る延長約3.3kmの事業です。そのうち、信濃川を渡河する橋梁区間の長岡市大宮～同市下山間約1.3kmを直轄権限代行により改築事業を行うものです。

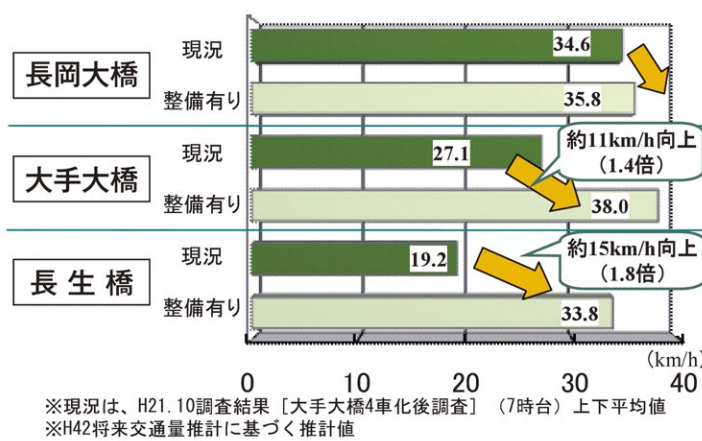


長岡東西道路整備後のイメージ図

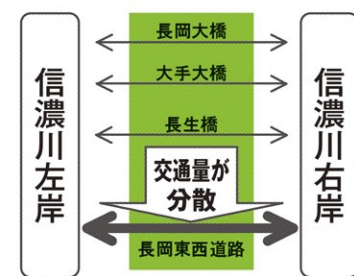
長岡東西道路の整備による効果

長岡東西道路の整備により、大手大橋及び長生橋からの交通が長岡東西道路に転換されることで、信濃川渡河部の交通容量が確保され、旅行速度の改善効果が期待されます。(長生橋ルートで約15km/h向上)また、長岡市中心市街地の渋滞損失時間が年間約8万人削減されます。

信濃川橋梁部周辺の混雑時旅行速度が改善

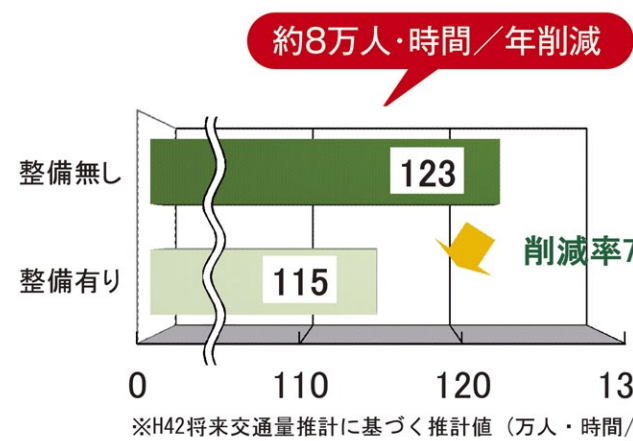


大手大橋、長生橋の交通量の分散



長岡市中心市街地の渋滞損失時間が減少

(国道8号、長岡IC、長岡東西道路、長岡駅を含む範囲)



長岡東西道路の事業経緯

| 年度 | 主な経費 |
|--------|---------------------------------|
| 平成6年度 | 地域高規格道路「長岡東西道路」計画路線指定(L=10km) |
| 平成9年度 | 地域高規格道路「長岡東西道路」整備区間に指定(L=3.3km) |
| 平成10年度 | 事業化(新潟県) |
| 平成10年度 | 都市計画決定 |
| 平成18年度 | 国による渡河区間の事業(直轄権限代行)に着手 |
| 平成19年度 | 用地着手 |
| 平成19年度 | 工事着手 |



大宮側から下山方面を望む(H24.5撮影)



下山側から大宮方面を望む(H24.7撮影)



ふるさとの めくもり伝える 道づくり
国土交通省北陸地方整備局
長岡国道事務所

〒940-8512 長岡市中沢4丁目430-1
TEL 0258-36-4551(代) FAX 0258-33-7566
URL <http://www.hrr.mlit.go.jp/chokoku/index.html>
ちよこく携帯版 <http://www.hrr.mlit.go.jp/chokoku/>



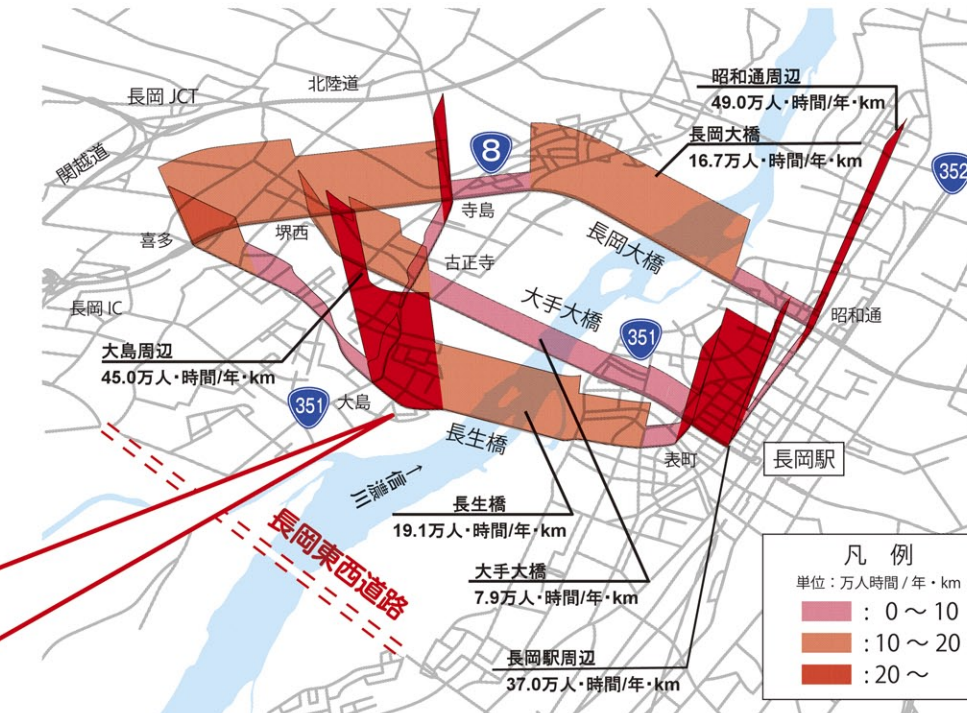
H24.8 作成

渋滞緩和で、暮らしにゆとりが生まれます。

現在の長岡中心市街地の渋滞

長岡市中心市街地部では信濃川渡河部及びその周辺で旅行速度が低く、特に長生橋では長岡駅方面へ向かう混雑時の旅行速度が20km/hを下回っています。そのため長岡市中心市街地の渋滞は、信濃川渡河部で著しく発生しています。

長岡市中心市街地の渋滞損失時間



長生橋東詰交差点を先頭に 1kmを超える渋滞が発生

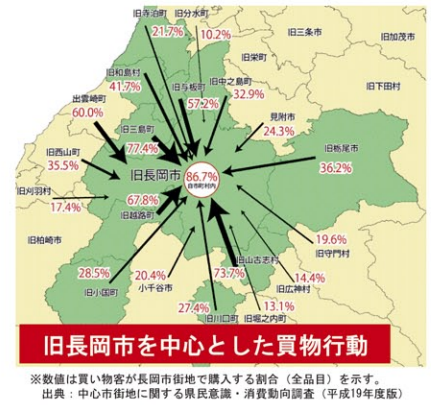


※H21.10調査結果【大手大橋4車線化後調査】

日常活動圏の中心都市である長岡市街地へのアクセス向上

市町村合併により広域化した長岡市中心市街地は、日常活動圏の中心都市として、周辺地域と密接なつながりを持っています。長岡東西道路の整備により、信濃川渡河部を中心とした交通渋滞が緩和され、通勤・通学・買い物など日常生活活動の利便性が向上します。

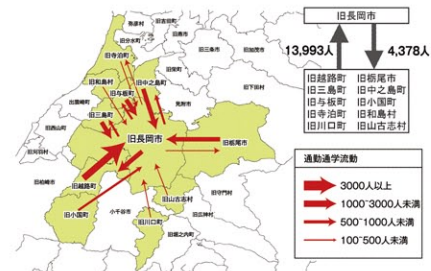
長岡市街地周辺の消費動向



中心市街地へのアクセス性向上



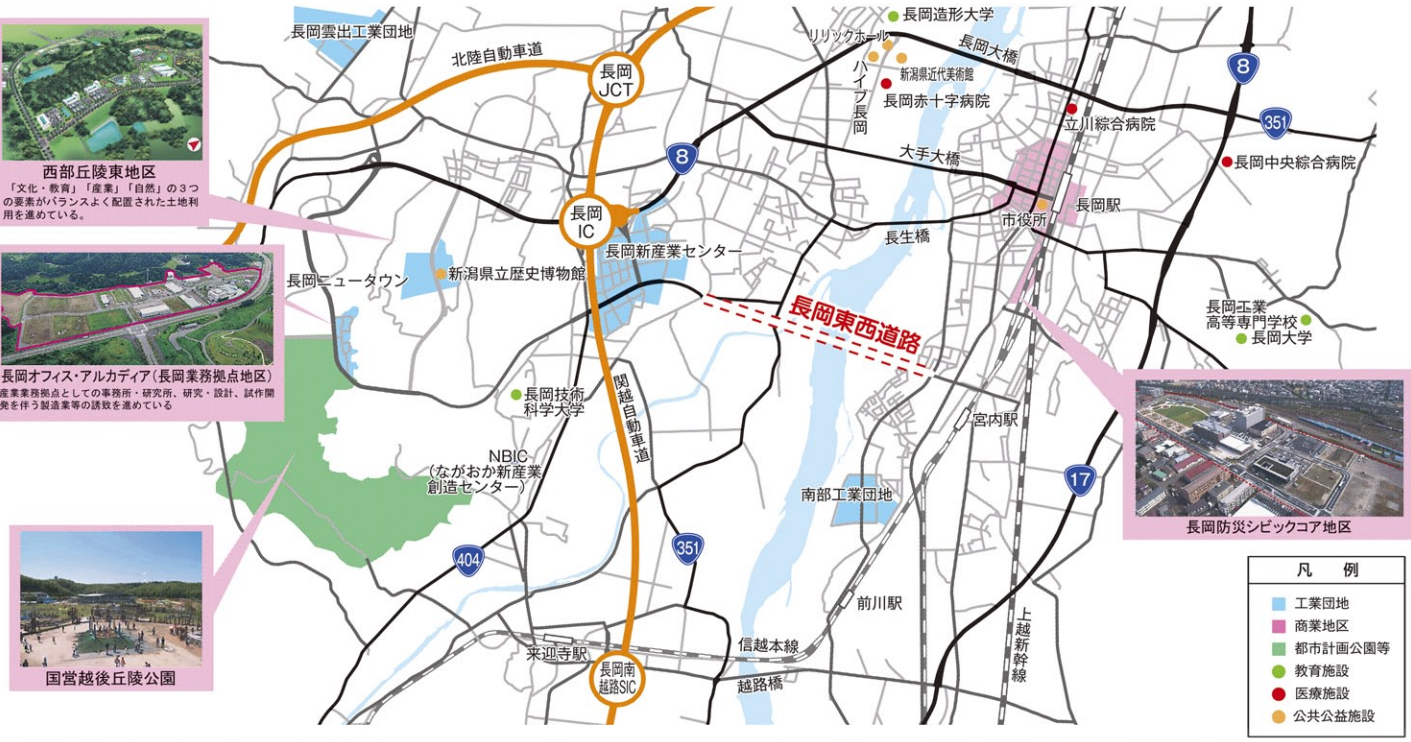
通勤・通学動態



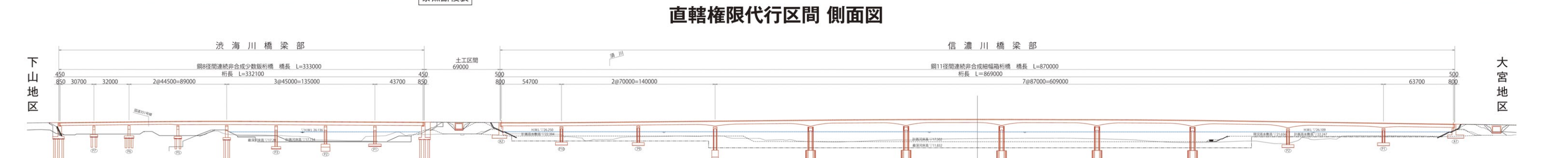
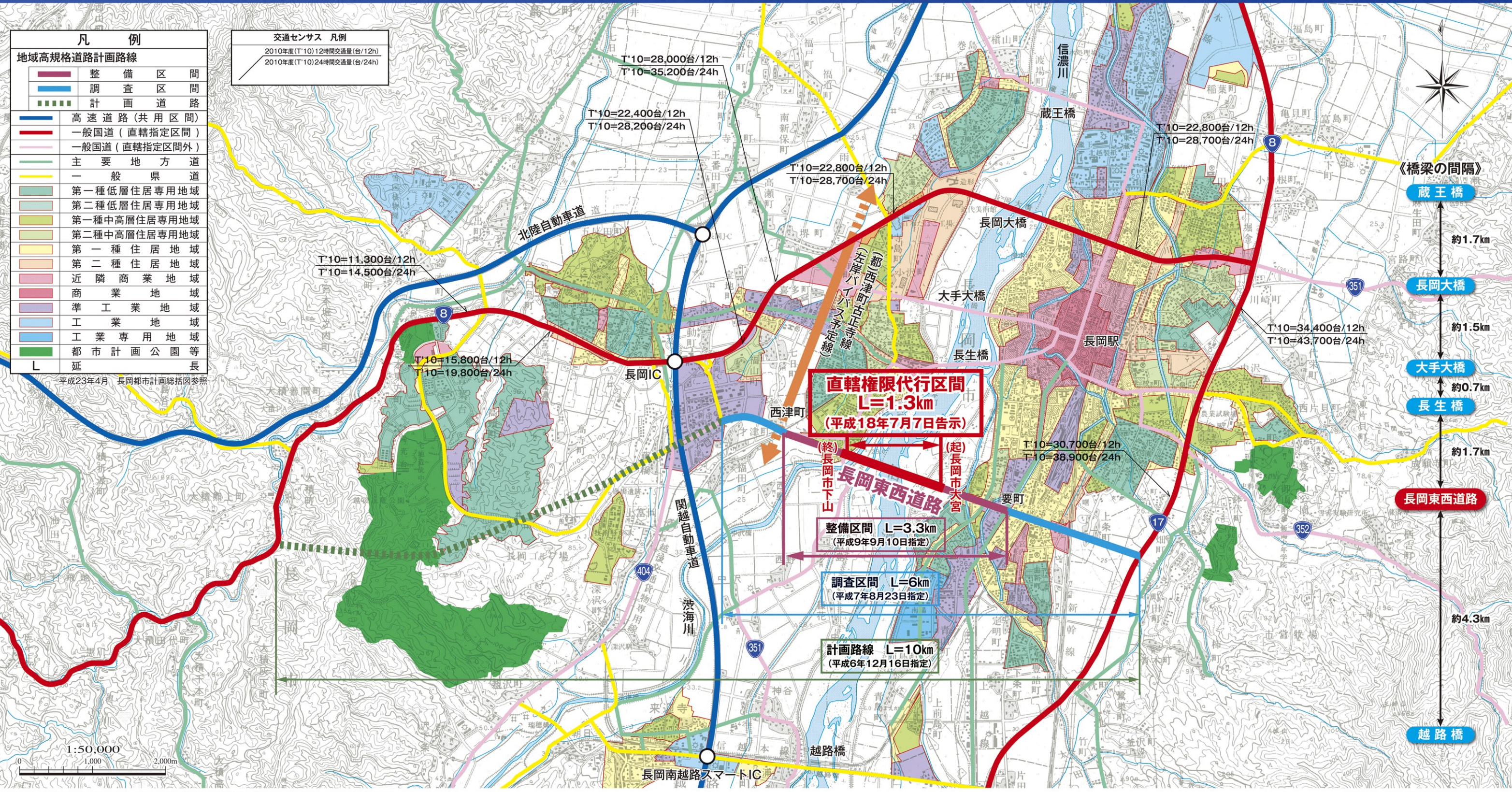
開発拠点への支援

長岡東西道路周辺には、長岡防災シビックコア、長岡業務拠点地区、長岡ニュータウン、国営越後丘陵公園等の大規模開発拠点があります。長岡東西道路の整備により、各拠点間のアクセス性向上により、開発計画の促進や産業の活性化が期待されます。

長岡東西道路周辺の施設



街から街へ。東に西に。



物が動き、人が交わる。地域に安心と発展をもたらします。

災害時における交通の確保

平成23年7月新潟・福島豪雨により、信濃川右岸側が浸水し、大手大橋及び長生橋は通行止めとなりました。また、この影響で長岡大橋周辺に交通が集中し渋滞が発生しました。長岡東西道路の整備により、災害時においても信濃川断面の交通容量を確保し、渋滞の緩和が見込まれます。



救命救急センターへのアクセス向上

長岡東西道路の整備効果が高い宮内地区から、年間約220人が救命救急センターである長岡赤十字病院に緊急搬送されています。

長岡東西道路の整備により宮内地区から長岡赤十字病院まで約3分(14分→11分)短縮され、長岡赤十字病院へのアクセス向上や経路選択の幅が広がり、一刻を争う救急患者の救命活動を支援します。

